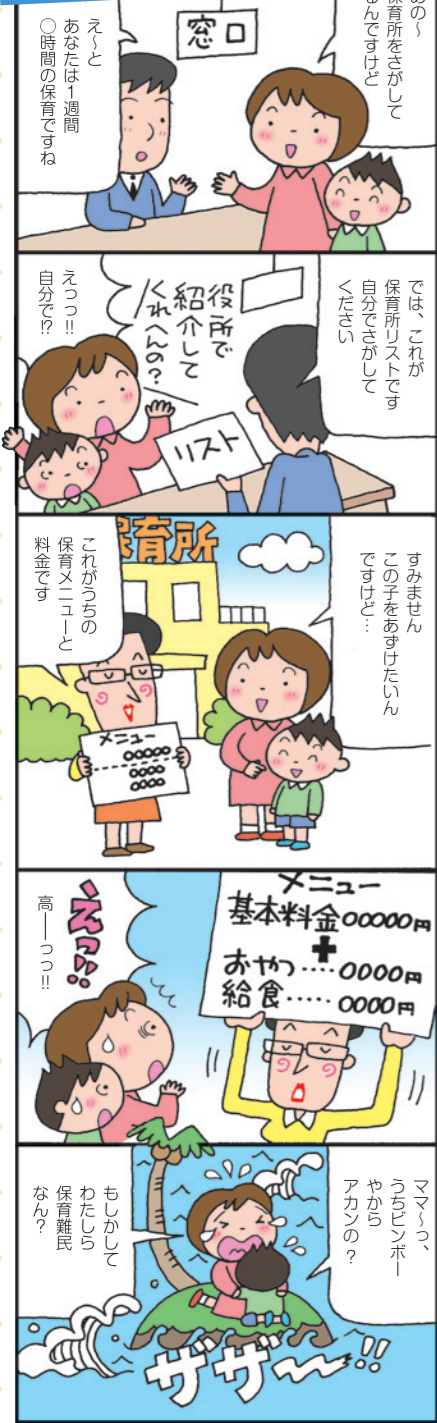


「新システム」ではこうなる!



政府がすすめる

「子ども・子育て新システム」で
保育所には入れない!?

保育は
政府・自治体の
責任で

保育所さがしは「自己責任」に
市役所は保育必要量を認定するだけ。その認定をもって、保護者が子ども園に行き、直接契約します。「満員です」と断られたり、他園へ。入所できないうちでも生まれます。

保育内容は「お金次第」
一定の基本保育料は市町村が決めますが、それ以外の乗せは自由。「給食」「ダンス」「散歩」「時間外」など各自をつけてこれまで当たり前だった保育にも別料金がかかります。

もう保育所をぶやいてください
今、問題なのは、保育所に入れない子どもがいることです。しかし、守口市では公立保育所を集約する(減らす)としています。保育所を増やして、すべての子どもたちの保育を保障することが求められています。



「街づくりニュース」
No.1の返信ハガキでは

返信ハガキは3月末で160通を超え、その多くは「市民の声をしっかり聞いてほしい」というものです。

守口市主催の学校統廃合の
説明会でも



- ・どちらの学校に集約するかが決められていて結論ありきであり、白紙に戻すべき
- ・子どもや街がどうなっていくのか、例をあげて具体的に説明してほしい
- ・通学経路の安全性から考えると、集約先の学校では危険すぎる
- ・地域コミュニティの拠点がなくなる。コミュニティがどうなっていくのか教えてほしい
- ・なくなった小学校の跡地はどうなるのか

守口市学校規模等適正化
基本方針(概要)

- ◆小規模校の規模適正化を図る統合
 - 三郷小学校・橋波小学校
 - 寺方小学校・南小学校
 - 第二中学校・第四中学校
 - 滝井小学校と春日小学校を統合し、第三中学校と施設一体型の小中一貫校を配置
- ◆老朽化等教育環境整備を図る統合
 - 東小学校・大久保小学校

公立幼稚園を
つぶさないで!

保護者から「公立幼稚園は個人々の個性を伸ばしてくれる」「保育料が安い」という声が寄せられています。公立幼稚園は、障がいを持つ子どもも含め地域の希望するすべての子どもたちを受け入れています。公立の果たす独自の役割をきちんと評価し、存続すべきではないでしょうか。

守口の「街づくり」に
たくさんの方が

「守口の街づくりを考えるシンポジウム」で



2月25日に開催されたシンポジウムで、パネラーの松布仁志さん(守口テニス協会会長)からは「年間1万6000人も利用するテニスコートを廃止されては困る」との意見が出されました。安本美代子さん(三郷校区老人会)は「高齢者をやっかいものにする社会は怖い」と発言されました。また、中学校教員は6年前の藤田中と梶中の統廃合の際、少人数授業の教室が不足した経験から「学ぶことや生徒への精神的ケアが大切だ」と語られました。

また、フロアーからも多くの発言があり、中でも歩行が困難なお子さんが公立保育のおかげで、かけ足ができるようになったという訴えには、参加者一同胸を熱くしました。



ホントは
どうなの?
市の財政

- Q** 守口市は「大変な財政危機」といわれていますが、本当ですか?
A 市民サービスカットと負担増をねらった「宣伝」です
- Q** 守口市は「借金」がたくさんあるのでは?
A 市民一人当たりの「借金」残高は、府内43市町村で18位です
どんなに裕福な自治体でも「借金」は必ずあります。たとえば、小学校の校舎などこれから何十年も使うものは「借金」(起債)をして建設します。野放図な借金はもちろんだめですが、守口市の借金残高は、一人当たり33万5000円。大阪府内では18位で中ほどです。
- Q** 市の財政は「大赤字」なのでは?
A 平成21年度以降は黒字を続けています
確かに平成19年度には39億円の赤字が出ました。当時の議会は市長に提言をだして、歳出削減と歳入の増加を行い、施設の利用料・使用料の値上げなど市民にも負担をお願いしました。その結果、市財政は黒字になり、累積赤字も平成21年度に解消。それ以後は黒字を続けています。

学校統廃合・改革ビジョンの「ふれあい講座」

市担当職員が
説明します

ゲストスピーカー 上野景三さん(佐賀大学教授・元佐賀大附属小学校校長)
7月1日(日)15:00~16:50
守口文化センター・エナジーホール(京阪百貨店前)
参加費無料

市民の声を上げよう

市民会館・公民館はなくさないで!

市民会館は廃止し、公民館をなくして地域コミュニティ拠点施設の整備を検討するとしています。しかし、統合・縮小が前提で今までどおりの利用ができなくなるおそれがあります。施設の存続も含めて市に要望を出していきましょう。